

この度はお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また参照できるように保管ください。

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡し下さい。

- 40形のLEDバーは40形の取付けベースと組合わせてご使用ください。  
20形のLEDバーは20形の取付けベースと組合わせてご使用ください。
- 本製品のLEDバーと取付けベースはPPシリーズ専用になります。

#### 40形 LED バー (光源)

40形	6850lmタイプ	OPI-1208PPH3・N
	5700lmタイプ	OPI-1208PPH2・N
	4050lmタイプ	OPI-1208PP2・N
	2050lmタイプ	OPI-1208PP1・N

#### 40形取付けベース (器具本体)

40形	トラフ	OJ-1258C2
	反射笠	OJ-12515K2
	逆富士 W150	OJ-12515V2
	逆富士 W230	OJ-12523V2

#### 20形 LED バー (光源)

20形	2300lmタイプ	OPI-608PP2・N
	1100lmタイプ	OPI-608PP1・N

#### 20形取付けベース (器具本体)

20形	トラフ	OJ-638C2
	反射笠	OJ-6315K2
	逆富士 W150	OJ-6315V2
	逆富士 W230	OJ-6323V2

## 安全に関する注意

**⚠ 警告 取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されます。**

- LEDバーを単独で使用しないでください。必ず指定のOPTIPLUS製のLEDバーと取付けベースと組み合わせてください。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、取付方法に従って確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- LEDバー・取付けベースを分解・改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDバーのパネルは樹脂製のため、取り扱いには注意してください。破損によりケガの原因となります。
- LEDバーが破損した状態で使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
- 電線接続は確実に行ってください。発熱・火災の原因となります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

**⚠ 注意 取扱いを誤ると人が負傷するか、財産に損害が生じる危険が想定されます。**

- 本製品は屋内専用です。屋外や雨の吹き込みを受ける場所、直射日光のあたる場所、湿気が多い場所、振動の大きな場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、-20～45℃以外では使用しないでください。指定外の周囲温度で使用すると短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。  
(一部の食品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれています。) 光学性能に影響を与える場合があります。
- LEDバーのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光のあたる場所などの紫外線の多い場所、ヘキササンやアセトンなどの有機溶剤が使用されている場所では使用しないでください。パネルの劣化・破損の原因となります。
- 照明器具の清掃は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤では拭かないでください。変色などの光学性能の劣化、変質、強度低下による故障の原因となります。

## 施工上の注意

- 照明器具の取り付け、取り外しは電気工事の有資格者が行ってください。
- 電線の接続は必ず電源を切ってから行ってください。器具の故障の原因となります。
- 電源線はWF選Φ1.6mmまたは2.0mmをお使いください。

1. 取り付け前の確認

- 器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトまたは木ネジ取付部（ネジかかり代）の強度を確保してください。  
※不備があると器具落下・感電の原因となります。

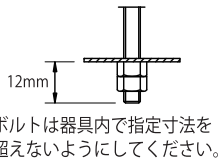
2. 取付けベース（本体）

2-1. 取付けベース（本体）の取り付け方

- 電源線、アース線を本体の電源取り込み穴から引き込んでください。
- 本体を取付ボルトまたは木ネジで確実に取り付けてください。（取付ボルト推奨トルク値：1.5N・m）  
※不備があると器具落下の原因となります。

2-2. 電源線・アース線の接続

- 電源線・アース線を端子台（電源用）に確実に差し込んでください。
- D種（第3種）設置工事が必要です。
- 端子台の最大送り容量は表の通りです。



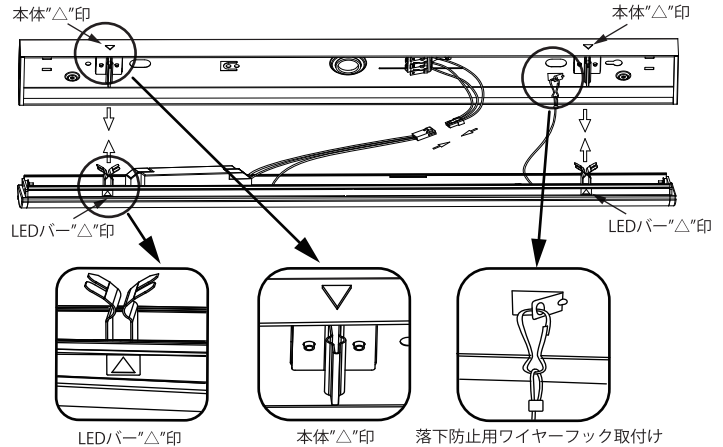
端子台の最大送り容量

ランプ	LEDバー品番	容量
40形	OPI-1208PPH3・N	10A
	OPI-1208PPH2・N	11A
	OPI-1208PP2・N	14A
	OPI-1208PP1・N	20A
20形	OPI-608PP2・N	20A
	OPI-608PP1・N	20A

3. LEDバー

3-1.LEDバーの引っ掛け

- 本体内の“△”印とLEDバー側面の“△”印が向かい合うようにLEDバーの方向を合わせてください。
- LEDバーにある落下防止用ワイヤーのフックを本体の取付部分に挿入してください。  
※取付が不完全な場合、LEDバー落下の原因となります。

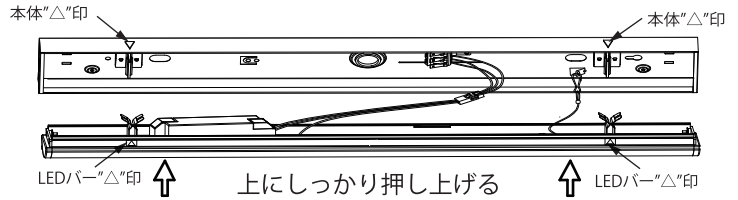


3-2.コネクタの接続

- 本体とLEDバーのコネクタを確実に挿入してください。  
『カチッ』と音がするまではめ込んでください。  
※接続が不完全な場合、火災の原因となります。

3-4.LEDバーの取付け（取付けバネのはめ込み）

- 本体内の“△”印とLEDバー側面の“△”印の位置を合わせます。
- LEDバーの取付けバネを本体のバネ受け台に合わせ、電源線と落下防止用ワイヤーを本体内に挿入してください。
- LEDバーを垂直に押し上げ、本体にしっかり挿入してください。



※不備があると器具落下の原因となります。

注) 電源線接続後、余分な電線はLEDバーとのあたりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を本体内に押し付けて処理してください。

余分な線は押し込む

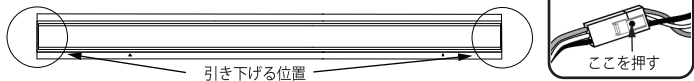
10mm ~ 14mm

接続電線：Φ1.6mm（単線） Φ2.0mm

※接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

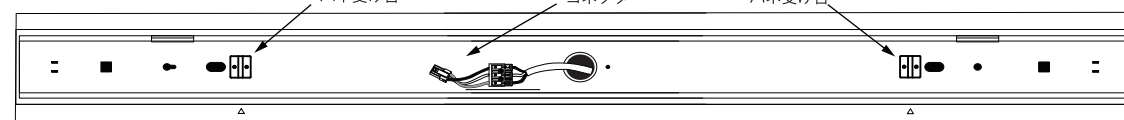
■LEDバーを取外す場合

- LEDバーの両端を持ち、垂直に下に引き下げます。
- コネクタ・落下防止を外します。



40形【逆富士タイプの例】

取付けベース（本体）

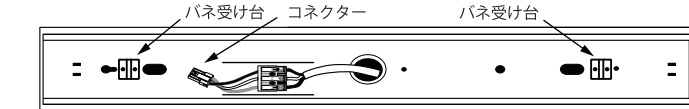


LEDバー

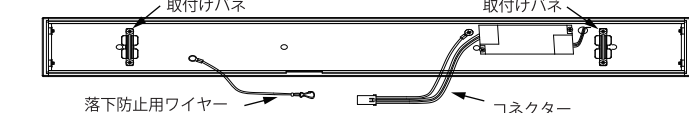


20形【トラフタイプの例】

取付けベース（本体）



LEDバー



株式会社オプティプラス

〒110-0016

東京都台東区台東4丁目18番7号

シモジンビルディング8階

お問い合わせ先

**TEL:03-5812-3566**

受付時間：10:00～18:00

（土・日・祝日・年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く。）